



だより

2022.2

Vol.182

CONTENTS

特集	ヒヤリハットとは?	表紙
	令和3年度 発生事故事例	2
	自分らしくいきいきと輝ける秘訣	4
	7区通信/ちょっといい話	5
	会員紹介	9
	わが町ぶらり	10
	互助会	11
	実績/配分金改定について/ 類似団体の注意について/ 退会をお考えの方へ	裏表紙

＼事故を予防しよう!／ヒヤリハットとは?

「冷や汗をかく」「思わず息をのむ」を意味する言葉を組み合わせてつくられた「ヒヤリハット」。皆さんも日常の生活の中で、「ヒヤリ」「ハッとした」という経験があるのではないでしょうか。

労働災害の分野でよく知られている「ハインリッヒの法則」では、事故発生の経験則で「1件の重大事故の背後では、29件の軽傷事故と300件のヒヤリハットが起きている」といわれています。ヒヤリハットの裏には重大な事故を引き起こす可能性があるということです。

福岡市シルバー人材センターでも、残念ながら令和3年4月～12月に50件の事故が発生しました。特に傷害事故が激増しています。事故は、決して他人ごとではありません。日常生活の中でもヒヤリハットとしたことはありませんか?事故を未然に防ぐためには、ヒヤリハットが発生したときに「事故にならなくて良かった!」で終わらせらず、原因や対策を考えるよう心がけましょう。



令和3年度 事故発生状況

(令和3年4月～12月現在)

傷害事故	27件
賠償事故	14件
自動車事故	9件
合 計	50件 (前年同月比+1件)



令和3年度 発生事故事例

令和3年度(4月～12月)に発生した傷害事故(27件)のうち、18件が転倒による事故でした(うち9件は自転車での転倒)。若ければ、避けられるような何でもないことが事故につながってしまい、**事故をきっかけに要介護状態や寝たきりになるケースも少なくないと言われています。**転倒のリスクは誰にでも、どこにでもあります。普段から身の回りに目を配って、危ない所がないか、転倒につながる要因はないかをよく見ておきましょう。

歩行中の転倒事故



通院(左手小指骨折)

状況 帰宅途中、歩道の点字ブロックに躊躇転倒し、顔面左側に擦り傷を負い、左手小指にヒビが入った。

対策 地面の凹凸には注意を払う。
特に「すり足歩行」になっていると、小さな凹凸にも躊躇してしまう。



通院(左膝骨折)

状況 靴底がすり減った運動靴を履いていたため、雨でぬれた床で滑り転倒し、左膝を骨折(ヒビ)した。

対策 滑り止めが薄くなった靴は履かない。
特に濡れた路面、砂場などを歩く場合、滑り止めがついた靴を履く。



入院(手首骨折)

状況 花壇へ散水後、後ろ向きで移動していたところ、花壇の縁石に足が引っ掛かり転倒し、手首を骨折した。

対策 作業は前後左右を確認できる状態で行う。



通院(顔面胸部打撲)

状況 就業途上中、前方より歩いてきた大柄の男性を避けようとして、転倒。右顔面、胸部打撲。

対策 慣れた場所でも油断は禁物。
考え方をせず、しっかりと前を見て歩く。



● 転倒しにくい靴下や靴を選びましょう ●

筋力が低下していると、足が上がりにくく、すり足になりがちなため、多少の段差でもつま先が引っかかって転倒しやすくなります。そのため、靴下や靴を選ぶときは、つま先が自然と反り上がる構造のものにすると、つまずきにくく歩き出しあるスムーズになります。また、靴底や足裏に滑り止めが付いているタイプは、靴底がすり減っていなければ、濡れた場所での転倒防止に効果的です。



自転車での転倒事故



状況

自転車で車道を走行中、後方の車にクラクションを鳴らされ、歩道へ移動しようとしたところ縁石に後輪が乗り上げ転倒。肋骨を骨折した。

対策

常に周りを意識して、ゆっくりと余裕をもって行動する。



状況

電動自転車で帰宅途中、信号待ちの際に、片脚で体を支え、前カゴからペットボトルを取りようとして転倒し、橈骨を骨折(ヒビ)した。

対策

前カゴから荷物を取るときは、両足を舗道に着くか、自転車を降りて行う。
電動自転車は大きな事故につながりやすい。



状況

買物の荷物を自転車に積過ぎ、バランスを崩し転倒した。

対策

自転車で荷物を運ぶ際は、量や大きさを考慮して、場合によっては、数回に分けて運ぶ。



状況

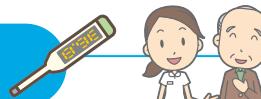
停車中のタクシーの横を通り抜けようとした時、車の横のドアが閉まる音に、びっくりして転倒した。

対策

停車中の車の横を通るときは、一度停まって確認する。



健康診断について



皆様がお持ちの会員手帳の中の「安全・適正就業基準」に「健康管理」という条項(第10条)があります。そこには「会員は常に健康の維持管理に努め、健康診断は進んで受けなければならない。」と規定されています。健康への意識向上が求められるところです。

国民健康保険に加入の60歳以上74歳までは、福岡市の「よかドック」の特定健診をご利用ください。また、75歳以上の方は福岡県が実施する「後期高齢者健康診査」があります。いずれも費用は500円です。

手遅れにならないうちに今すぐ

60~74歳 よかドックご案内センター (092-711-4826)

75歳以上 福岡県後期高齢者医療広域連合 (092-651-3111)

または

区役所の保健福祉センター健康課(各区)や、行き付けの医療機関へ

なお、協会けんぽ(092-283-7621)、共済、各種企業や団体の組合健康保険にご加入の方は健康保険証に記載がある連絡先にお問い合わせください。また、受診後は必ず所属出張所に連絡しましょう。

新型コロナウイルスやインフルエンザの感染予防はもちろん、自分の健康は自分で守りましょう。

**お尋ね
ください!!**



シルボンヌに聞きました!

自分らしくいきいきと輝ける秘訣

- 新年を迎え、気持ちも新たにされた方も多いのではないでしょうか。
- センターには約2800名の女性会員があり、いきいきと元気に活動されています。
- そこで各出張所にお声かけして前向きにいきいきと過ごす秘訣をお伺いしました!

東出張所 山本会員

私自身の生活スタイルを仕事の日程にあわせています。休みの日には趣味の習い事、友人との楽しいランチ会と有意義に充実した日々を満喫しています。



博多出張所 徳丸会員

認知症対策として、毎日午前中は色々な運動をしながら、健康管理に努めています。また、生涯学習として“書”を学び、シルバーでは、筆耕班の一員として仲間と会える喜びと共に練習に励んでいます。



中央出張所 加藤会員

4人家族のお宅で家事援助の仕事をしています。幼稚園児のお子様がいてたまたま居合わせると「カトーさん」「カトーさん」と二人して遊びの披露の連続です。可愛くて仕事も楽しくなります♪



南出張所 池田会員

高齢者乗車券案内業務で頑張っています!また、手芸クラブにて仲間と楽しく過ごし、趣味で着物リメイク教室やコーラスも楽しんでいます♪ みなさん!仕事に趣味に生き甲斐を求めて活動しましょう!



「シルボンヌ」とは

「シルバー」とフランス語の「ボンヌ」(お手伝い・親切・優れたの意味)を合わせた造語で、シルバー人材センターのイメージアップと女性会員の入会促進に向けて、公益財団法人いきいき埼玉(埼玉県SC連合)が平成30年に定めた女性会員の愛称。

城南出張所 坂口会員

大好きな花を種から育て春に咲くのが楽しみです♪ 平成19年に入会後、筆耕班、区役所窓口案内、駐輪場で就業しました。今はボランティアで花壇の手入れ等に参加して明日へのエネルギーにしています。



早良出張所 芳村会員

アローハ 大好きなフラを踊っているとハワイにいるような気分になります(させてくれます)フラガールやめられない! マハロ~(ありがとう)



このシンボルマークは公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が作成した「女性活躍促進にむけたシンボルマーク」です。

西出張所 宮ノ原会員

私が訪問する生活支援の方々は人生の先輩が多く、日々の生活で様々な工夫や知恵が見られ、見たり聞いたりすると「なるほど」と感心するばかりで、学ぶことが多く大切なものを頂いています。



| 博多区 はかたく

東平尾公園での除草作業



今回は公共除草班での東平尾公園の特に落ち葉の収集作業を取材してきました。

東平尾公園は1990年のとび梅国体を開催するのを機に敷地面積88ヘクタール(東京ドーム約19個分)(福岡ドーム約12.5個分)の広大な敷地に造られました。



この運動公園には子供達も遊べるアスレチックジムなどもあり、草スキー場はシルバー会員が管理者として毎日就業しています。

取材に行ったのが12月に入ってからなので、落ち葉収集の7割近くの作業は終わっていましたが、それでも1日の作業で90リッターの袋に10~20袋の



落ち葉が集まります。

池子(いけす)班長以下11人体制で男性6人女性5人1日3時間就業しています。池子班長が年間の就業計画を作っているそうです。

特に落ち葉の季節は非常にハードな作業で今年の秋は90リッターのごみ袋に

- 11/8~14の週は55袋
- 11/15~21の週は80袋
- 11/22~28の週は130袋 集めたそうです。

集まった落ち葉などは肥料にする為に集積場へ持って行き、再処理するそうです。

広報委員 松崎 広昌

| 中央区 ちゅうおうく

民間接遇研修会開催



11月11日(木)・12日(金)の2日に分けて、合計17人の参加で民間接遇研修会が開催されました。

目的是民間就業先に対するコンプライアンス(法令遵守)と接遇マナーの習得・向上であります。

研修会は「株式会社 ウィルブレイン」の池田講師を中心に進められました。

第1テーマのコンプライアンスでは、法令遵守はもとより、社会的な倫理観や良識をもった行動に心掛け、お客様に選ばれるセンター会員になることを強く求められました。



第2テーマの接遇マナーの向上では、センター会員としての基本的な行動パターンやコミュニケーション技術を習得し、お客様にサービスを提供するに当たり、否定語を避け丁寧さや思いやりなどを態度で表すことが重要だと話がありました。

その後、受講者はそれぞれペアを組み、あいさつ、身だしなみ、表情、立ち居振る舞い、言葉遣いについて、実技を交えて研修しました。

研修後のアンケートでは、ほとんどの受講者が、今回の接遇研修は実務的でわかりやすく、非常に有意義であったと述べていました。

松山委員長からは、「今回の研修で身につけたノウハウを、確実に実務に生かして欲しい」と、コメントがありました。



広報委員 大津 英世

I 南区 みなみく

女性会員の地道な努力が実を結ぶ 家事援助サービス班の活況



「かつてはシルバーの仕事は男性中心でしたが、近年は仕事の比重が女性に移りつつある」との発言を聞いたのは12月10日に南出張所で開催された「家事援助サービス班全体会議」の席上でした。

聞けば南出張所内で110人の家事援助班は年々実績を伸ばし、コロナ禍の今年度でも前年比115%の伸びを確保、全出張所の中でダントツの1位を誇っています。

主に女性が活躍する家事援助班の作業内容は掃除、洗濯、買い物、食事の支度等々ですが、園児の送迎などの子育て支援等も行っています。

会議では、会員の自己紹介や就業体験談が耳目を集めました。中でも多かったのが会員の生きがいの話でした。「年齢を重ねて家では暇をもてあそぶようになり、検討の結果シルバーの仕事をやり始めました。高齢者の生活支援では、お客様にいろんなことを教えてもらったり、励まされることも多くお客様への感謝の念が尽きません。そのことを意気に感じ、今では月の半分は就業している状況です」とやりがいを話す女性会員は実年齢よりずっと若く、生き生きと見えました。

ただ、会員たちも高齢者なのでシルバー人材センター側も無理な依頼には応じないようにと注意を促しています。特筆すべきは就業の副産物として一般の同年齢層の人たちよりも保険医療費が年間約6万円程度も少ないというデータが会員の健康を物語っています。



年に1度の全体会議の模様

広報委員 伊藤 建規

I 城南区 じょうなんく

四季彩る笹の台団地の清掃



昭和48年～50年にかけて長尾2丁目の丘に、日本住宅公団(現UR都市機構)が分譲住宅として開発したもので、世帯数は530世帯、5階建て15棟の緑多い大型団地です。

井出担当に笹の台団地の業務内容について話を聞きました。

春には桜の花が咲き、夏は欅の新緑が鮮やかで、秋になると桜と楓の紅葉がとても奇麗なところです。この団地を5人の会員さんが2名体制で清掃活動をしています。

広い敷地で、坂道や階段が多く各棟の屋外清掃は大変です。桜の花が咲いてから紅葉が終わり落葉するまで、忙しい毎日で気が抜けません。集会所の清掃やゴミ置き場の清掃もあります。

会員の皆さんからは「四季折々の自然に囲まれているので大変さをつい忘れてしまいます。」

そして「住民の方々から親しみを持って話しかけられ励みになっています。」と口々に言っていました。



広報委員 池末一弥

早良区 さわらく

福祉家事援助サービス班全体会議



早良市民センターで11月12日(金)43名の会員が参加して標記会議が開催され、冒頭で福祉家事援助サービス憲章唱和、当センターイメージソング「きっと もっと これから」の紹介がありました。

波多江委員長、櫻井専任担当理事の挨拶に続き、就業機会創出課川野職員が生活支援サービスの現状と今後について、三坂安全担当が事故発生状況等の報告を行いました。

「内田理事長は挨拶で「今回は勉強させていただきます」との言葉通り、終始最前列でメモを取りながら、皆さ



んの話を熱心に聴いておられました。

続いて、セメダイン株式会社の土岐直人様より「接着剤の使い方」と題して講演がありました。

休憩後、山本雅子・内山淳子両会員より、それぞれ福祉家事援助サービスについての就業体験談が

披露され、皆さん大いに共感されたようで盛大な拍手が送られました。これを受けて、7組に分かれてグループワークが行われ、各グループの代表が発表を行いました。この討議により、日頃感じている事、疑問に思っている事、悩み等を出し合い、皆さん情報の共有、疑問の解消等に役立ったことと思います。

最後の挨拶は渡部監事が務めました。

広報委員 金田 博保

西区 にしく

コロナ禍で苦戦する西出張所活動の記録(その2／180号より続く)



姪浜駐輪場(東西計3246台収容可)の一風景

市営駐輪場(西区)では、コロナ禍で利用者が減少し定期券の解約・払い戻しが増加した時期もありました。例えば姪浜駐輪場(写真参照)では、利用者が減少した時期もありました。

西区役所案内業務では、来庁者が密にならないよう、区役所の対応もあり、感染対策に充分気をつけ就業しています。

安全パトロールでは、屋外作業の訪問が中心となり屋内作業の訪問は断られる傾向にあり、傷害事故とそれに関連する就業会員の自宅での面談が増加する傾向にあります。

派遣業務では、コロナ禍による派遣先(特にホテル・各種施設等)の仕事の減少が大きく、厳しい状況です。

会員拡大業務では、人の密集を伴う活動は困難となり、ポスティングが主要な手段となっているので、皆さんがんばっておられます。



広報委員 川口 雅正

東区ひがしく

役員会

令和3年度の第5回役員会は、12月24日(金)午前10時から出張所会議室で、地域班長と職群班長が出席して開かれました。

小林委員長の挨拶の後、出張所選出正会員役員(区委員長、専任担当理事、監事)立候補者の募集が告示され、受付から投票までのスケジュールが発表されました。それに伴う東区選挙管理委員会が立ち上げられ、委員5人の選任と、その中から中川和博会員が委員長に選出されたとの紹介があり、全会一致で承認されました。



挨拶する小林委員長



東区選挙管理委員会のメンバー

引き続き令和3年11月末までの東出張所の事業報告があり、コロナ禍で若干会員数が減ってはいるものの、就業率や配分金などは前年を上回っており、なかでも女性会員の就業者の数は、ここ3年で飛躍的な伸びを示しているとのことです。

菊堂副委員長からは、事故が増えているとの報告がありました。特に就業途上の自転車事故が多く発生しているので十分気をつけていただきたいし、これから寒さが厳しくなりますので体調管理を万全に仕事に臨んでほしいと呼びかけられました。

最後に、新型コロナの感染拡大で、2020・21年と開催が中止となっていた「東区会員の集い」を3月11日(金)に、なみきスクエアで開く予定であることが報告されました。

広報委員 宮川 洋

ちょっといいはなし 市民スポーツ振興奨励賞 (早良区)



早良区公共公園除草班(早良パーク班)の御供田智彰会員は、福岡少年野球連盟に所属している原北ウイングズのコーチとして活動しています。

同会員はこのたび、「地域でスポーツ・レクリエーション活動を積極的に行うとともに、地域のスポーツ・レクリエーションの普及・発展・振興に貢献したこと」により、福岡市から「福岡市市民スポーツ振興奨励賞」が贈呈されました。これについて、令和4年1月1日の市政だよりに名前が掲載されています。

鍵を探してください方へ (西区)

土曜の昼頃に鍵を失くしたとお電話させて頂いた者です。
無事見つかりました。
とても親切に対応してくださり、
心あたたまる思いでした。
ありがとうございました。

九大学研都市駅西駐輪場に届いたお礼



会員紹介



いしべ けいこ
石部 圭子さん
(西区)

**シルバー人材センターと
共に歩んだ16年**
—仕事を頂くことは健康を頂くこと—

【入会のきっかけ】

定年退職後の自由な生活にも飽き、別の生活スタイルを求め、西出張所を覗いた時に入会を勧められ、入会しました。

【シルバー人材センターでの仕事はどうでしたか?】

最初の仕事は3人でのクリスマスケーキの発送作業で、3人は仲良くそれまでにない楽しさと喜びを感じました。次に歯科医院の受付の仕事を二人でシフトを組み4

年半しました。帰宅時間が遅い日が多く、一日4~5時間の就業で次第に疲労が重なり、1年仕事はせず休養しました。その後自宅近くの団地の清掃を3人でシフトを組み2年、最後にドコモショップの開店前清掃の仕事を3人でシフトを組み8年しました。最後の5年は地域班長でもありました。これまで16年間もシルバーで仕事ができたのは、一日2~3時間程度の同僚との会話が弾む仕事が多く、生活に余裕があったからだと思います。

【趣味は何ですか?】

卓球や近場での写真撮影です。平成20年の私の写真は写真サークルで撮影したものです。



平成20年の石部さん

【今後の目標は?】

自分で友達作りと健康維持をしていくのですが、心配です。これまで仕事を頂くことで健康を頂いたようなもので、大変感謝しています。長い間お世話になり、ありがとうございます。

広報委員 川口 雅正



こばやし まきこ
小林 真喜子さん
(東区)

【入会のきっかけ】

家からほど近いところにあったシルバー人材センターの事務所を、何の気なしに覗いてみたのが入会のキッカケでした。平成8年3月のことでした。

【就業について】

趣味で書道を習っていましたので、筆耕班に属することにしました。平成8年ころの筆耕班は、ほとんどが男性で、皆さん凛とした恐い存在でした。仕事をいただいても、一切指導していただくことはなく、自分の責任で仕上げていた記憶しかありません。

入会後まもなく、短期間でしたが、東出張所の事務のお手伝いをさせていただきました。

それから、駐輪場での定期券の発売に、平成9年

から11年まで3年間ほど就業し、以後、筆耕班で現在に至っています。

この筆耕班での活動が、今の私の暮らしに大きく関わっています。好きな仕事に携われる楽しみに加えて、たくさんの仲間が出来たことが何よりの収穫です。その仲間10数名とともに、書技向上を目指して、月1回の勉強会を開催、頑張っています。

一見元気風に見える?私も80歳を過ぎた超老人です。不安は山ほどありますが、老いを受容し、折り合いをつけながら、あと少し仲間の皆さんとの交流を、楽しみたいと思っています。



書技向上を目指し、仲間と共に頑張っている小林 真喜子さん(左)

広報委員 宮川 洋



わが町ぶらり散歩



～サザエさん通りから
シーサイドももち海浜公園へ～
(早良区)

82



・ サザエさん通り

西新の脇山口交差点からシーサイドももち海浜公園までの約1.6Kmの通りがサザエさん通りと呼ばれており、この通りに沿ってサザエさんの案内が7か所設置されています。この案内を見ながら、新聞の4コマ漫画や歌に思いを寄せて歩くのもいいでしょう。通りの終点となるシーサイドももち海浜公園ではサザエさん、カツオくん、ワカメちゃん、タラちゃんの4人のシルエットが揃っています(写真1)。



1

百道中央公園/福岡市総合図書館/福岡市博物館



2

百道中央公園はサザエさん通りとよかとぴあ通りに面している上、福岡市総合図書館と福岡市博物館に隣接しており、近隣の人々の憩いの場となっています。

この辺りはシニアを始め多くの人の人気スポットとなっており、景観に優れ、図書館では気に入った書籍を



3

手に取る事ができますし、博物館では古くからの歴史の変遷に触れる事ができます。周辺を散歩したり、ジョギングで体力維持に努め、日常生活をリフレッシュするのに最適の環境と言えます(写真2,3)。

・ 福岡タワー

海浜タワーとしては日本一高い234m、展望室の高さは123mあり、日頃は遠くから眺めるが多いと思いますが、晴れた日に一度展望室まで登ってみてはいかがでしょうか(写真2)。非日常が体験でき、気分爽快になりますよ!

・ シーサイドももち海浜公園



4

この海浜公園は東西に1.4キロの砂浜が続く人工海浜公園で、マリゾン(写真4)にはレストランやマリンスポーツショップなどがあります。このマリゾンから出ている高速船「ウミナカライン」は海の中道を繋いでいます。

このエリアは若者がスポーツやショッピングを楽しむのに適した海浜公園といえますが、潮風に吹かれて海岸を散策するシニアもよく見かけます。



参考資料:早良区よかとこMAP、さわらの秋

広報委員 金田 博保



互助会代表幹事 公募のお知らせ



代表幹事任期満了につき、次期代表幹事候補者を公募します

互助会代表幹事 1名

主な業務

- パソコン(エクセル・ワード)操作ができる方
- 予算書・決算書作成ができる方
- 互助会業務に専任できる方
- 会場予約など对外折衝ができる方

任 期

1期2年(再任あり・最長4年)



選出方法

互助会運営委員会、
書類選考及び面接で決定

応募方法

各出張所備え付けの応募用紙に
記入し、委員長に提出

応募締切日

令和4年3月7日(月)午後5時まで

互助会活動の懐かしい思い出

この2年間コロナ禍で、残念ながら様々な互助会行事が中止になりました。
行事の一日でも早い再開を願って、過去の名場面や思い出をご紹介します。



互助会活動の一日でも早い再開を願っております。

互助会業務委員一同

事務局からの大切なお知らせ

配分金の改定について

令和4年4月1日以降就業分より、下記の通り配分金の改定を行います。

変更内容	現 行	令和4年4月1日以降
配分金単価 (消費税込み)	870円/時間	900円/時間

2時間以内の業務および業務内容によっては、別途単価を適用します。

詳しくは、所属出張所へお問い合わせください。
業務課

令和3年度 実績報告

会員数	6,726名	就業者数	4,119名
男 性	4,148名	就業率	59.5%
女 性	2,578名	事業収入	15億42,962円

(令和3年12月現在)

「シルバー人材センター」と類似した名称を使用する事業者について

県内で当センターと同様の業務を行っている「特定非営利法人シルバー人財いき活きセンター」「シニアサポートセンター」等について、お問い合わせが増えていますが、当センターとは関係はございませんのでご注意ください。

また、就業時は皆さんのが公益社団法人福岡市シルバー人材センターの会員である証明として「会員証」の携帯をお願いいたします。



▶ 退会をお考えの方へ

退会をするためには、「退会届」の提出が必要になります。

退会をご希望の方は、必ず令和4年3月31日までに所属の出張所で退会の手続きをお済ませください。

令和4年4月1日時点で会員資格をお持ちの方は、令和4年度会費の納入の必要があります。ご注意ください。

► 各出張所のお問い合わせ先

東出張所	〒812-0061 東区筥松2丁目1-27 電話番号:092-624-4680
博多出張所	〒812-0893 博多区那珂2丁目5-1山浦第3ビル4号室 電話番号:092-414-4680
中央出張所	〒810-0022 中央区薬院4丁目1-27薬院大通センタービル壱番館3階 電話番号:092-526-4680
南出張所	〒815-0033 南区大橋3丁目17-3 電話番号:092-551-4680
城南出張所	〒814-0103 城南区鳥飼6丁目1-18 電話番号:092-845-4680
早良出張所	〒814-0006 早良区百道2丁目1-35 電話番号:092-821-4680
西出張所	〒819-0002 西区姪の浜4丁目8-28 電話番号:092-881-4680

「ふくおかシルバーだより」

発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

[HP] <https://www.fukuoka-sjc.org> [e-mail] honbu@fukuoka-sjc.org